題意識調査

送側で対策ズレ

051人（中小
9人、運送業
を対象に「2
024年問題に関する意
識調査」（インターネッ
トによるアンケート）を
実施した。調査期間は、
昨年11月10日～15日。
それによると、「20
24年問題」を知って
る人は、中小製造業・運送
業ともに8割以上と認知
た。
「2024年問題」の
具体的な影響について
は、中小製造業・運送業
ともに、「輸送費の高騰」
と「発送から納品までの
リードタイムの長期化」
が懸念事項として上位に
挙がった一方、運送業で
は「人材の確保」が一番
の懸念事項となってい
る。

ZOLLER Japan German HUB2024 日独7社の合同展示会

ZOLLER Japan（大阪府吹田市、06・6318・1910）は2月1日と2日、本社でプライベートショー「German HUB2

牧野フライス精機とアライドマテリアルのほか、ドイツ発の超硬溝入れ工具メーカーHORN、マシンバイスやツールホルダーを開発するSフライス精機のCNC工

る加工前の段階で浮き彫りになる課題へのソリューションとして、ツールプリセッタをはじめとする代表製品や牧野

新年会に21人が参加

西機工会青年部

大阪西機工会青年部（清水善徳部長・シミズ

市福島区）で新年会を開き、21人が参加した。
清水部長は開会に先立ち、「コロナ禍もようやく落ち着き西青年部も活

く。協力して進めていきたい」とあいさつした。
オノマシンの小野修二

製作所・ソディック・東京精密

でプラショー 投資意欲に手応え

た。実機を見
、確かめるこ
る貴重な機会と
売商社がユー
して4カ所を
るなど、熱心に
は、新世代C
SP-P50
0」のほか、立形マシニ
ングセンタ＋移動式協働
ロボットやsmarTw
inCELL、複合加工
機＋ARMROIDなど
簡単に自動化・長時間運
転できるソリューション
を提案。
岡本工作機械製作所

オークマの会場風景

は、研削条件・ドレス条件を自動計算してくれる精密平面研削盤「PSG

ソディックの会場風景

64CA-iQ」や精密ロータリー平面研削盤「PRG6DXNC」な

岡本工作機械製作所の会場風景

どを披露した。
ソディックは、金属3Dプリンタ「LPM325」やリニアモータ駆動のワイヤ放電加工機・形彫り放電加工・マシニン

東京精密の会場風景

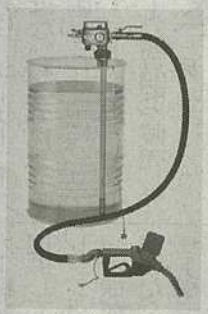
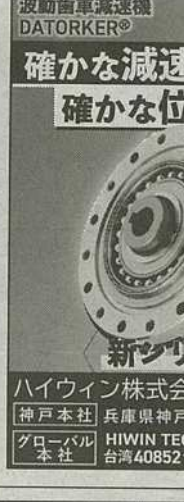
グセンタのほか、不活性ガス溶解射出成形システムや正解材料の溶融粘度を手軽に測定できる装置などを紹介した。
東京精密は、三次元座標測定機、表面粗さ・輪郭形状測定機、X線CT装置など最新計測機器を紹介したほか、画像式3次元座標測定機「O-DETECT」や測定データを収集・蓄積し一元管理できる測定データ管理システムも注目を集めた。

工具を

この「一貫」の精神は
設備にも生かされている。同工場では、100台以上のマシニングセンタや加工機が使われているが、自動化に関するエンジニアリング機能も全て内製。「創業時から近隣に機械加工企業が少なかったことも内製の土壌を育んだ」（加藤社長）。
こうした日本品質の工具づくりを強みとする一方、国内の作業工具は成熟市場とみられがちだ。しかし、加藤社長は悲観していない。「当社の工具が多く使われるインフラ関連の市場では新素材が登場している。また、人口減少などによって街づくりが変われば新たな工具が必要になる」からだ。そして、新たな需要を開拓するために「新たな街づくりでどんな工具が求められるのか情報収集し、新しい提案をしていく」。
今後についても「仕事に誇りを持つ職人さんの手助けとなるような工具を提供し続けたい」とし、徹底した高品質なものづくりによる「ジャパン品質」で現場を支え続ける。

タやコーナーレンチ、ミゼットカッタ、VA線ストリッパなど独自商品を開発し続けている。2022年にも業界初となる化粧管締め込み用工具「グリップレンチ」を発売するなど、その開発力は今も健在だ。
それを支えるのが、製造部門である松阪鉄工所。三重県津市にある工場には、工具の基盤となる鍛造ラインを複数持ち、それぞれの工具に最適な材料を選択し、社内で鍛造する。金型も内製するほか、加工、熱処理、塗装、組立まで全て一貫で生産する。加藤賢治社長は内製率の高さについて「工具の品質にこだわり、細部にまで作り込みができること」とそ

所は1916
県で鋳物業とし
108年の歴
当初は農具や
具の製造から始
に当時海外生産
ったボルトク
ハイプレンチの
を開始した。
も、エンビカッ

アクアシステム
満タンになると自動停止
オイルの吹きこぼし未然に防ぐ

ポンプ専門メーカーのアクアシステム（滋賀県彦根市、0749・23・9123）は自動停止機能付きのエア式ドラムポンプである「センサードラムポンプAPD-20GATNB」を発売した。独自のセンサー技術（特許申請中）を活用し、灯油・軽油・オイルなど小分けする際の液体の吹きこぼしを未然に防ぐことでオイル節約に貢献する。
同製品は独自のセンサーを活用し、液体が満タンになると自動で停止し、液体の吹きこぼしを防ぐ。乾電池式のノズルなためノズル単体でも自動停止が可能で、これまで実現できなかった自重落下の環境にも対応する。
また、赤と緑の表示ランプで電池切れも一目で分かるなど管理も簡単。握れば排出し、離せば止まる仕様で使いやすく、安全に使用でき、製造工場ほか、ホームタンクのある家庭など幅広い場面で使いやすく、省エネ・節約に貢献できる。